



第 63 号

千 町 田

上半期を終えて 専務理事 河津一行

今年の暑くて長かった夏がようやく終わり、10月に入ってやっと秋めいて来たように思います。水稲も実りの秋を迎え圃場では稲刈り真っ最中です。

当法人でも米の収穫に大忙しの日々を送っていますが、一方で大豆やキャベツ、それからハウス栽培の作物たちがこれからの季節に向けて少しずつ準備を進めているところです。

上半期を終えて、経営コンサルタントを迎え入れ、これまでの事業をじっくりと顧みてみる機会を得ることができました。当法人は経営的には安定していると言われているものの課題も多く、飼料用稲(WCS)や飼料用米等の交付金に支えられているのが実情です。令和3年の米価下落に続き昨年から肥料・農薬・資材の高騰



が、ここ3年間の経営を圧迫してきます。このままでは現状を維持するのが精一杯で、今後の農業情勢の変化に対応するのが困難になるのではないかと危惧しています。

しかしながら、当法人の若い職員が少しずつではありますが、成長してきているのが感じられ心強い限りです。彼らと地域の若い世代が一体となれば、まだまだ当法人は発展できると確信しています。



組合員の皆様におかれましても、この頃の物価高や燃料費の高騰など家計を圧迫する事が多々ある中で、のきの郷が少しでも皆様のために応援できるような存在になりたいと思っています。そんな将来が来るように組合員の皆様と共に若い世代を見守っていききたいと考えています。

最後になりますが、現役員の任

期も残り少なくなってきました。次世代に希望がもてる法人造りに微力ではありますが残された期間邁進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。



JA 担い手 コンサルティング

今年7月よりJAしまね安来地区本部を窓口にはJAバンクが実践している担い手コンサルティングを活用しています。メンバーは、JAしまね、農林中央金庫、外部コンサルタントの8名とのきの郷から3名が参加しています。

取組み内容は、対話による聞き取りや財務分析など各種分析を行い、経営課題を可視化し解決策をご提案いただき、継続的な支援を受けて経営力強化につなげていくというものです。今回5回の打ち合わせを行い取組み事項の確認があり、これから短期、中期、長期ビジョンに沿った取組み事項について



での改善策を進めていくこととなります。それを基に1年ごとに振り返りと課題の検討を行っていきます。

収益向上、

経営基盤の安定など手法を模索している中で一つの指標となるものが出来ました。改善策に向けて一足飛びには出来ないと思いますが少しずつでも前に進めるよう取り組んでいこうと思います。

中間監査会 開催

8月20日(日)に中間監査会が開催されました。監事、理事と経理担当者が出席し、事業報告と中間決算報告を行いました。

説明した内容について、監事から事業についての質問や意見をいただきました。それを踏まえて、今後の活動に生かしていきたいと思えます。





ハウスでも、それぞれ作物が育っています。ぶどうは今年から本格的に収穫して9月に全数出荷することが出来ました。



田んぼの様子

今はきぬむすめの刈取りの最中です。のきの郷の乾燥施設とJAのカントリーエレベータを使って乾燥調製をしています。



大豆とキャベツは順調に生育していますが、今年は草に悩まされており除草作業が大切な作業となっています。

トマトは収穫期を迎え次々に収穫されています。いちごは定植が終わり今冬の収穫に備えています。



能義小 稲刈り体験学習

9月25日に能義小5年生の稲刈り体験学習がありました。

まず寿会の方より昔の稲刈りの様子を聞いた後、刈取りを始めました。最初はさ



うになりました。刈り取った稲をコンバインで脱穀するまでを体験しました。

田んぼが柔らかくて泥んこになりながらでしたが無事作業を終えることが出来ました。



こちらなかつたものの要領を覚えるとザックザックと刈り進めることが出来るよ

いらっしやいませ

9月22日

東部農林水産振興センター

安来普及部 農家研修

9月26～28日

安来三中 職場体験

9月28日

能義小3年 社会科学習

7月31日・8月22日

9月5日19日28日

JA 担い手コンサルティング

お知らせ

令和5年産なたね油の予約を開始します。箱入りは包装の掛けもできますのでお気軽にお申し出ください。

🍵 ちよっこし聞いて 🍵

昨日までは真夏の暑さで今日からは天高く仰ぐ秋の空という感じにあってという間に秋になってしまいました。風が金木犀の香りを心地よく運んでくる中でふかし芋をほおばるなんて秋の風物詩ですよ。食べやすいに注意です。(わ)

